



発行所 飯田市電丘公民館 編集人 飯田市民館広報部 印刷所 信州印刷株式会社 松本市市上電05686

期成同盟会結成

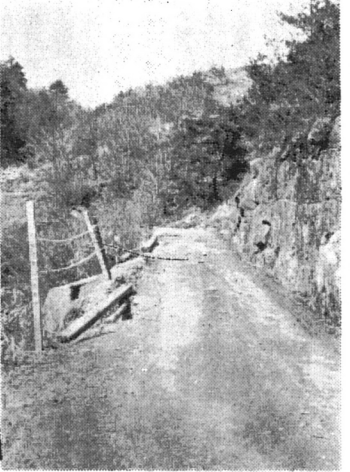
さっそく県へ陳情

○県道時又中村線は、将来中央道開通と共に重要路線となる事が予想されるため、飯田市では、同線に關係する電丘、伊賀良の自治協議会...

同線は時又より伊賀良中村へ、殆んど伊賀良地帯で電丘へ入ると、飯田市の西部、飯田市の西部、飯田市の西部...

線中村又時 早期改修をめぐって

○県道時又中村線は、将来中央道開通と共に重要路線となる事が予想されるため、飯田市では、同線に關係する電丘、伊賀良の自治協議会...



道路改修工事の現場

○県道時又中村線は、将来中央道開通と共に重要路線となる事が予想されるため、飯田市では、同線に關係する電丘、伊賀良の自治協議会...

岐路に立つ電丘

時又商店の場合

○国道バイパスが、電丘・上野・下野と延び、一方電丘川路を貫き、開通して五月に...

バイパス開通と商業地図

○この様な変化に、ただ傍観して居るのではなく、消費層の拡大を...

道路整備など要望

市長と語る会開かる

○市長と語る会が二月十日午後七時、時又電丘支所において...

市民の憩の場に

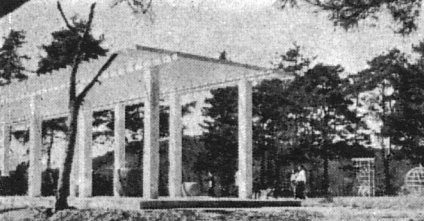
鈴岡公園施設整う

○鈴岡公園は昭和三十六年三月に開園されたが、近年施設の老朽化...

防火意識の徹底を

今年になって四件の火災

○防火意識の徹底を、今年になって四件の火災が発生した。防火意識の徹底を...



小学校PTAの事務所

きたらと思う。先日予防検査を行った結果ですが、火を取扱う場所があるいはその器具等の悪い箇所は、だん／＼改善され良くなってきておりますので、あは火を取扱う場合のちょっとした注意によって、火災がなくなると思ふ。

分田豊 増田雅和

食管堅持というが…

このままでは、なし崩しも？

戦中戦後の食糧制限政策は国民の主食として米は増産…
 ……増産が図られてきた。それは何よりもまず日本経済…
 ……を発展させるため米の国内供給が必要であり、それは農民…
 ……によって至る命であった。だからこそ政府は毎年、生産…
 ……者米価を上げて増産を図ってきた。

米、作付制限を考へる

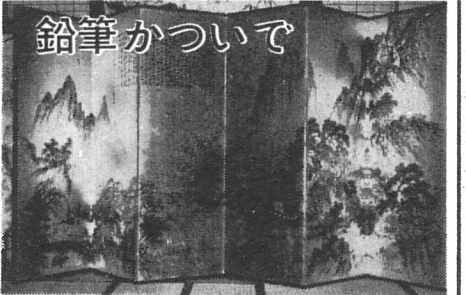
とろが昭和 飯田市分六百四十五トン、百千
 年の大豊作か 九・五ヘクタールである。
 らる余力は 市では市長を会長とする米の生
 (米は、昨年 産調整協議会を結成し市の目
 10月には全国で 標に基づいて、各地区毎の目標を
 五五七万吨に 算出しながら各農家への割当を決
 達した。これは めた。当道地区の減反目標は水
 主食用配給量の 田面積百八・六ヘクタールのう
 約10ヶ月分にあ ち一・五ヘクタールである。
 たります。この 市では三月六日農協に於
 ため政府は4年 て部実行組合長会がもたれ、推
 産産米米に 進協議会も結成された。しかし多
 ついては米増産 くの農家の人達の声は「つい三年
 量を決定し、米 前までは増産へと米を奨励し、
 作抑制の第一歩として米を奨励し、
 作付制限をだしてきたのです。
 全国的減反目標は百五十万ト
 三十四万六千ヘクタールのうち特に
 農家にとって問題となる生産調整
 分が百五十万ト、二十三万六千ヘ
 タールである。その目標に基づい
 て各都道府県、各市町村へと割当
 てしたのである。長野県分二万六
 千七百トン、五千二百ヘクタール

反目標達成は可能 減反問題はむしろこれから

去る三月六日農協に於て部実行
 行組合長会と飯田市農政課より減
 反の各農家への割当が示された。
 市では減反推進に当って大方向
 の方針を進めている。(農政課資料
 より) ① 転作を原則とする。② 転
 作は桑畑近代化、商品生産地化
 の基盤づくりを基とする。③ 推進は
 農協を中心として指導する。④ 要
 望の出ている価格補償、貿易自由
 化抑制、転作補助措置等を関係機
 関と連携するよう考へる。
 市では各農家で示された目標
 を参考にし、各自で減反計画を
 立て、実施計画書を提出した。三
 月三十一日現在の市管の集計を見
 ると減反目標一・五ヘクタールに
 対し農家の計画は一・一ヘクタ
 ルで九六％となっている。転作
 の内訳は桑一・八四飼料作物一・
 二ヘクタールとなつていて、転作
 力しなければならぬ。
 刻々とうり変わる時代が
 臨んでいく。農家の労働力を求め
 るようになる。先づ返さなければ
 ならない。先づ返さなければなら
 ない。先づ返さなければならぬ。
 今後六百万人の主婦を家からひ
 っぱり出して働かせるという
 という記事は何処かで見れば、そ
 れはパート勤務という制度にな
 っています。主婦の労働力の中
 心になる年代層の労働力の減少
 心にかかる気持ちはよくなる。外
 に出る働くのはけつこうだけれ
 どもそれを働く人に顔をそむ
 けては、たまたまた働いていて
 暮らしていく生活が私には何だか
 怖しくそれでよいのだらうかと
 思われ仕方がない。農家の運営
 は次の段階を何と考へなければ
 ならない時が来たかと思ふ。

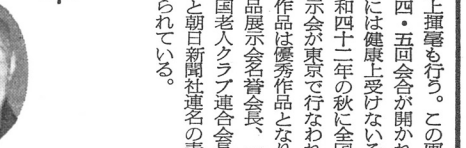
減反奨励金(竜丘の場合)	
共済組合の示す基準反収×	
1kg当り81円	
最高	600kg×81=48,600円
最低	420kg×81=34,020円
平均	517kg×81=41,877円

山田耕雲さん—若い人には
 知らぬ人もいろいろだが、竜丘
 であり飯田でも誇れる人です。
 八十才となつた今日も、鉛筆は
 毎日握り、得意の日本画を書か
 れています。時又の自宅にお訪
 しました。山田さんの自筆の「そ
 娘・頼山陽と四方開かれた部屋
 の墨絵に感動し、桐林の岡村リ
 ン・七十五才になられ機織り
 して



「正しい心の修養をする事」を
 心得に絵を描いて七十余年
 時又 山田耕雲さん
 長谷寺の寛文。

「心得に絵を描いて七十余年」
 長谷寺の寛文。
 今までの書かれた画の数は数え
 きれない程だそうだが、その絵は
 九州から北は福島の山に散らば
 ってあります。ここに福島の
 白石市では展示会が開かれるの
 ことで、現在飯田、下伊那では
 十七名程で「一画遊」を作り、毎
 年中央公民館で秋に展示会、即
 ちぬをなくす事、一、数多く書
 事



「心得に絵を描いて七十余年」
 長谷寺の寛文。
 今までの書かれた画の数は数え
 きれない程だそうだが、その絵は
 九州から北は福島の山に散らば
 ってあります。ここに福島の
 白石市では展示会が開かれるの
 ことで、現在飯田、下伊那では
 十七名程で「一画遊」を作り、毎
 年中央公民館で秋に展示会、即
 ちぬをなくす事、一、数多く書
 事

随想リレー (85回)



昨年の秋、飯田市連協は「市連
 婦の歩み」と題して、飯田市と七
 か村の合併を併せて飯田市連協婦
 人会が定めた昭和四十二年より
 昭和四十一年までの十年間の
 活動状況を編集し発刊した。「市
 連協の歩み」ののせる為に私は、
 竜丘地区婦人会の同じ十年間の活
 動状況を記録してあるものを元に
 まとめてみて、しみじみ感じたこ
 とは、私達が何かを得ようとする
 と、私達が何かを得ようとする
 と、私達が何かを得ようとする
 と、私達が何かを得ようとする

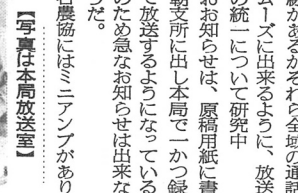
婦人会の歩み

時又 伊藤 菊枝

その必要性を感じて見直しを
 行い、今後の活動を
 さかんにする為に
 婦人会の組織
 が消えてしまふ
 心配が、私達に
 どのくらいある
 のかと、私達に
 どのくらいある
 のかと、私達に
 どのくらいある

有放自動化急ピッチ

有線が竜丘に出来た十一年、今
 では有線のない生活は考へられな
 いほど日常生活に必要なものとな
 っている。昭和四十四年には全
 通話も可能となり居ながらにして
 市内全域との通話が出来ること
 になりました。また、新らしい有線
 とは人間の欲望をそれだけにとど
 んでおかず公衆電話との接続
 方式がつかひ上つて来た。こうし
 た折四十四年十一月二十五日に
 田市の有線電話の更新の時期が
 近づき、電波管理局の検査を受け
 ることになった。



【写真は本局放送室】

あの人のこの人

- ◎ 伸びよ健やかに
- | | | |
|----|-----|----|
| 氏名 | 部落 | 父名 |
| 大前 | 勝男 | 貞治 |
| 原 | 守夫 | 先 |
| 中島 | 進 | 義和 |
| 増田 | 貴光 | 君雄 |
| 下平 | 栄子 | 憲良 |
| 後藤 | 豊子 | 貞司 |
| 岡島 | さおり | 鏡司 |
| 牧内 | 京子 | 信行 |
| 中野 | 栄子 | 金 |
| 金子 | 至 | 利雄 |
| 吉村 | 和男 | 靖士 |
| 松原 | 照代 | 一洋 |
| 原 | 博子 | 功 |
| 仲田 | 美恵子 | 好夫 |
| 中島 | 修司 | 信義 |
- ◎ 永遠に幸あれ
- | | | |
|----|----|-------|
| 中上 | 道雄 | 北九州市中 |
| 金野 | 明江 | 上川路 |
| 阿部 | 光一 | 阿智村 |
| 坪井 | 達雄 | 泉町 |
| 下平 | 鶴子 | 泉町 |



- ◎ 眞福を祈る
- | | | | | |
|-----|-----|----|---|----|
| 下平 | 広志 | 桐林 | 男 | 六六 |
| 伊藤 | 岩雄 | 科 | 男 | 八〇 |
| 山岸 | せん | 科 | 女 | 七二 |
| 菅原 | 専一 | 科 | 男 | 六九 |
| 宮下 | ふさ | 科 | 女 | 七三 |
| 小笠原 | 吉 | 科 | 男 | 八〇 |
| 門島 | 國照 | 科 | 男 | 七〇 |
| 山田 | 國照 | 科 | 男 | 七四 |
| 中田 | 今朝子 | 科 | 女 | 六五 |
| 熊谷 | 志 | 科 | 男 | 七二 |
| 熊谷 | 志 | 科 | 男 | 七二 |
| 池上 | 昌雄 | 科 | 男 | 七〇 |
| 代田 | 武郎 | 科 | 男 | 五二 |
| 牧内 | 大助 | 科 | 男 | 八七 |
| 市瀬 | 勝美 | 科 | 男 | 一六 |
| 原 | 里 | 科 | 女 | 九〇 |
| 今村 | ツヤ | 科 | 女 | 六〇 |
| 林 | 治 | 科 | 女 | 七〇 |

編集後記
 異常寒波に終結した三月が暮れ
 四月の春陽を聞いたとたん、「春
 が春陽を結晶させた。」と
 今頃は花見が浮々とした
 だが万寿山のレコードが聞か
 れる日も近い。
 遅れると言えども本号も大分遅れ
 ています。
 次号からはスタッフも一新され
 斬新な紙面に目玉かかれる事
 期待したい。(K)